

航空機海上事故対策訓練の実施

関西国際空港では、空港周辺の海上で航空機事故が発生した場合に備え、関係機関と協力し乗員乗客の救助や、負傷者の救護および病院への搬送訓練を下記のとおり行います。

記

1. 実施日時 2012年1月26日(木) 14:00～15:30
2. 実施場所 関西国際空港西側海域及び関西国際空港海上アクセス基地(別図参照)
3. 主 催 関西国際空港緊急計画連絡協議会(会長:関西国際空港(株)セキュリティ部長)
4. 参加機関等
 - (1) 参加機関 : 16機関
大阪海上保安監部、神戸海上保安部、徳島海上保安部、関西空港海上保安航空基地、堺海上保安署、岸和田海上保安署、大阪航空局関西空港事務所、大阪府警察本部、大阪水上警察署、関西空港警察署、大阪市消防局、堺市消防局、大阪府立泉州救命救急センター、日本航空株式会社、関西国際空港株式会社、関西国際空港セキュリティ株式会社
 - (2) 人 員 : 約170名
 - (3) 船 艇 : 14隻
 - (4) 航空機 : 2機 [海上保安庁ヘリコプター1機、大阪市消防局ヘリコプター1機]
 - (5) 車 両 : 2台 [関西国際空港(株)救護車]
5. 訓練内容
「K航空2011便、B737型機がバードストライクによりB滑走路に緊急着陸を試みたが、突風のため滑走路を逸脱し、西側海域に着水した。」との想定で実施。
 - (1) 海面の乗客11名、および救命筏に避難した乗客8名の救助・搬送訓練
 - (2) 海上保安庁巡視艇内での船上救護所および現地調整本部(海上連絡所)の設置・運用訓練
 - (3) 航空機と想定した船艇に対する火災消火訓練(消防艇4艇による一斉放水)
 - (4) 海上ターミナル救護所の設置、運用訓練(陸上部分への搬送訓練を含む)
6. その他
天候等により訓練を中止する場合は、当日10:00までに決定し、ご連絡します。